

平成30年7月

市長定例記者会見次第

1. 日 時：平成30年7月12日（木） 14：00～ （約1時間）
2. 場 所：405会議室
3. 出席者：市長、関係局長ほか
4. 案 件
 - （1）文京区との友好交流都市協定締結に向けた覚書の調印について（資料番号1）
 - （2）『景観条例制定50周年 記念シンポジウム』について（資料番号2）
 - （3）歩けるまちアートベンチの設置について（資料番号3）
 - （4）金石・大野やすらぎの林ふれあいゴルフ広場の拡張整備について（資料番号4）
 - （5）金石・大野レンタサイクルの実施について（資料番号5）
 - （6）小学校サマースクールにおけるプログラミング教室の開催について（資料番号6）
 - （7）「KANAZAWA Civic Tech Contest 2018」の開催について（資料番号7）
 - （8）東村アキコ プロデュース かなざわ女子恋（来い!）プロジェクト
「かなざわステキ男子2018」写真の募集を開始します（資料番号8）

市長定例記者会見資料

文京区との友好交流都市協定締結に向けた覚書の調印について

1. 調印式

日 時：平成 30 年 8 月 8 日（水） 16：30～17：00

場 所：徳田秋聲記念館（金沢市東山 1 丁目 19-1）

出席者：金沢市 市長、副議長、経済局長

文京区 成澤廣修（なりさわひろのぶ）区長、徳田章子（徳田秋聲御令孫・
徳田秋聲記念館名誉館長）、小野光幸アカデミー推進部長

※文京区内に、徳田秋聲旧宅があることから、徳田秋聲記念館を会場とする。

2. 背景及び経緯

文京区には、江戸時代に加賀藩前田家上屋敷や中屋敷が置かれたこと、また徳田秋聲や泉鏡花、室生犀星、竹久夢二などの文化人ゆかりの地が数多くあること、加賀宝生のルーツである宝生流の宝生能楽堂が区内にあることなど、本市との歴史的、文化的なつながりが深い。

また、平成 28 年 7 月には文京石川県人会が発足し、民間等による交流も活発になってきていることから、互いの地域性や文化を尊重しつつ、両都市の友好の絆をさらに深め、魅力と活力にあふれたまちづくりを共に進めることを目的とした友好交流都市協定の締結に向けた覚書を交わすこととした。

3. 今年度の主な取組事業

5 月 22 日（火） 文京区校（園）長会で教育旅行誘致を金沢市長がプレゼンテーション

6 月 2 日（土） 金沢百万石まつりに区長、議長を招待（区長は用務のため欠席）

10 月～11 月 公益財団法人文京アカデミー主催「文京アカデミア講座」（全 5 回）
開催

※文京区と金沢三文豪をテーマとし、金沢市の三文豪文化施設の
館長及び学芸員が講師となる。

11 月 16 日（金）、17 日（土）

文京博覧会 2018 にブース出展

11 月～12 月頃 かなざわ講座開催

4. 今後の取組

平成 31 年度中の友好交流都市協定の締結に向け、観光、文化、スポーツ等の分野において、幅広い世代による交流をさらに進める。

市長定例記者会見資料

『景観条例制定 50 周年 記念シンポジウム』について

伝統環境保存条例の制定から今年 50 年の節目を迎え、これまでの取り組みを振り返るとともに、これからの景観まちづくりについて意見を重ね、次の 50 年に向け金沢の景観の魅力さをさらに高めていくために、記念シンポジウムを開催します。

【日 時】 平成 30 年 9 月 1 日 (土) 午後 1 時 30 分～

【場 所】 金沢市民芸術村 パフォーミングスクエア

【内 容】

1. 講 演 神戸芸術工科大学 教授 西村 幸夫 (元東京大学 教授)

「金沢市伝統環境保存条例制定の歴史的意義と今後の景観施策のあり方」

2. 国際的に見た金沢の景観について

(1) 国際シンポジウムの結果報告

金沢の景観をテーマに、本市と国連大学、金沢大学等が共催して、前日の
8 月 31 日 (金) に開催する国際シンポジウム ^(※) の結果を報告します。

(※) SDGs の推進に向けた共同研究 (住み続けられるまちづくりを) に位置づけ

(2) 金沢市国際交流員と市長によるパネルディスカッション

3. これからの景観まちづくりについてパネルディスカッション

コーディネーター 金沢工業大学教授 水野 一郎

パネリスト 金沢市景観審議会委員 福光 松太郎

神戸芸術工科大学教授 西村 幸夫

金沢 21 世紀美術館館長 島 敦彦

※ 本日、7 月 12 日 (木) から募集を開始します

景観条例制定50周年記念

景観シンポジウム

2018

9. 1 SAT

13:30~16:00

金沢市民芸術村

パフォーミングスクエア

入場無料

定員200名

主催／金沢市

13:30

基調講演

『金沢市伝統環境保存条例制定の歴史的意義と今後の景観施策のあり方』

講師 / 西村 幸夫 神戸芸術工科大学教授

国際シンポジウム報告

『都市景観をグリーンインフラから考えるー金沢市における活用と協働』

報告 / 国連大学IAS いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット

外国人から見たKANAZAWA

コーディネーター / 山野 之義 金沢市長

パネリスト / 金沢市国際交流員 ほか

これからの景観まちづくりについて

コーディネーター / 水野 一郎 金沢工業大学教授

パネリスト / 福光 松太郎 金沢市景観審議会委員

西村 幸夫 神戸芸術工科大学教授

島 敦彦 金沢21世紀美術館館長

16:00 閉会

問い合わせ

金沢市景観政策課 TEL/076-220-2364 FAX/076-224-5046

MAIL/keikan@city.kanazawa.lg.jp

パートナーシップコラボ企画

■国際シンポジウム

『都市景観をグリーンインフラから考える』

主催／金沢大学 地域政策研究センター

共催／国連大学IAS いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット、金沢市

後援／石川県立大学、石川県

8.31 FRI 9:30~17:00

しいのき迎賓館ガーデンルーム



景観条例の制定から
今年 50年の節目をむかえます

これまでの取り組みを振り返り
一緒に これからの金沢の景観について
考えてみませんか

多数のご参加をお待ちしております



講師

神戸芸術工科大学教授 西村 幸夫 氏

神戸芸術工科大学 教授、工学博士。

1952年福岡県生まれ。

東京大学都市工学科卒、同大学院修了。

東京大学大学院教授、東京大学副学長、東京大学先端科学技術研究センター所長を歴任。2018年4月より現職。

日本イコモス国内委員会委員長、ICOMOS(国際記念物遺跡会議)元副会長(世界文化遺産の評価等を行う)。専門は都市計画・都市保全計画・市民主体のまちづくり論など。



景観条例制定50周年記念景観シンポジウム 参加申し込み書

申し込み方法

参加ご希望の方は、電話、FAX、電子メール又は郵送でお申し込みください。

電子メール・郵送でお申し込みの方は、以下の内容を送信してください。

なお、定員になり次第、締め切りますのでご了承ください。

〒920-8577 金沢市景観政策課 TEL/076-220-2364 FAX/076-224-5046

MAIL/keikan@city.kanazawa.lg.jp

※複数人分をお申し込みの場合は、代表の方の情報をご記入ください。

個人申し込み	氏名 (ふりがな)			
団体申し込み	企業名・団体名 (代表者名)	()	参加希望 人数	人
連絡先	電話番号 メールアドレス			

歩けるまちアートベンチの設置について

平成30年 7月12日
歩ける環境推進課 安宅、宮田
TEL 220-2371

1. 目的

魅力的なデザインのベンチを都心軸に設置することで、歩いて観光する来街者や市民の回遊性向上を図るとともに、都心軸沿線における憩いと賑わいの空間を創出する。

2. 概要

- (1) 設置場所 : 都心軸沿線 (金沢駅～片町) に7か所
緑地や歩道、バス停等に設置
(その他の場所は、民地等の所有者と協議中)
- (2) 設置時期 : 9月中旬から順次設置

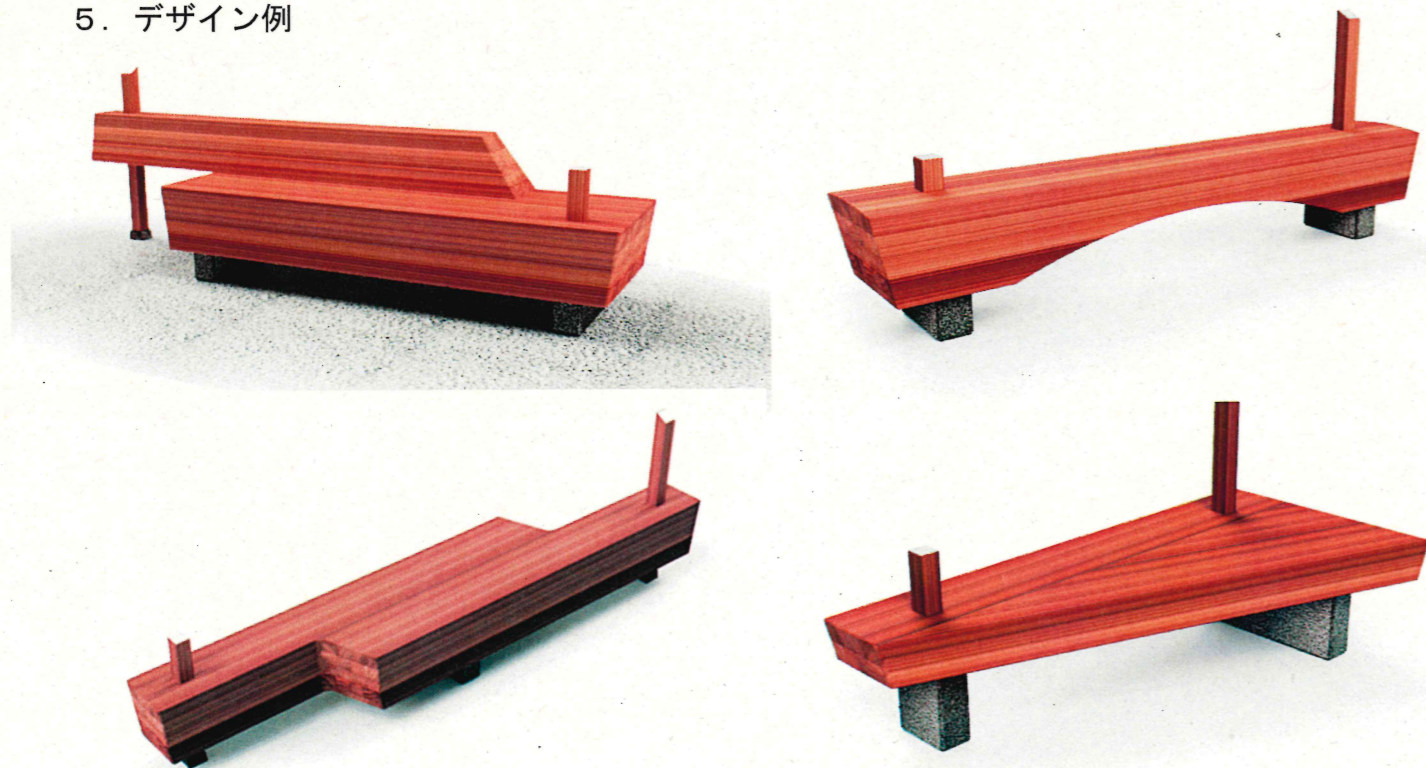
3. デザイン、制作

金沢美術工芸大学 (デザイン科 製品デザイン専攻 ねごろ たかなり 根来 貴成准教授の研究室)

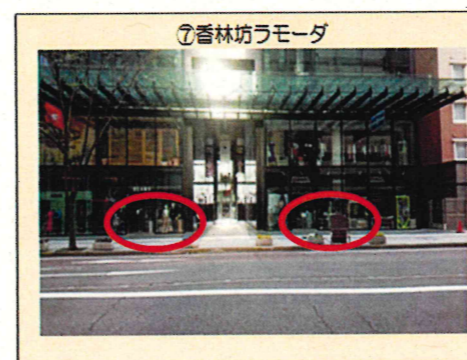
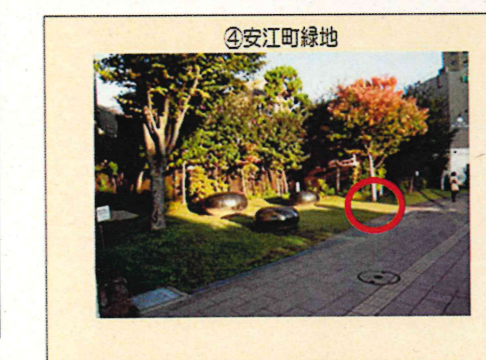
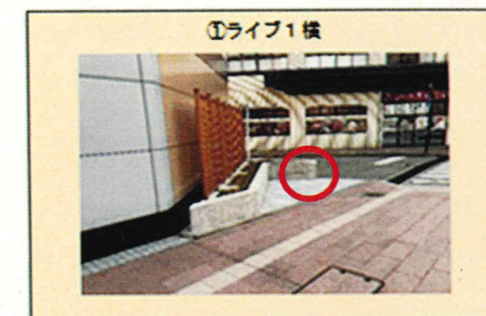
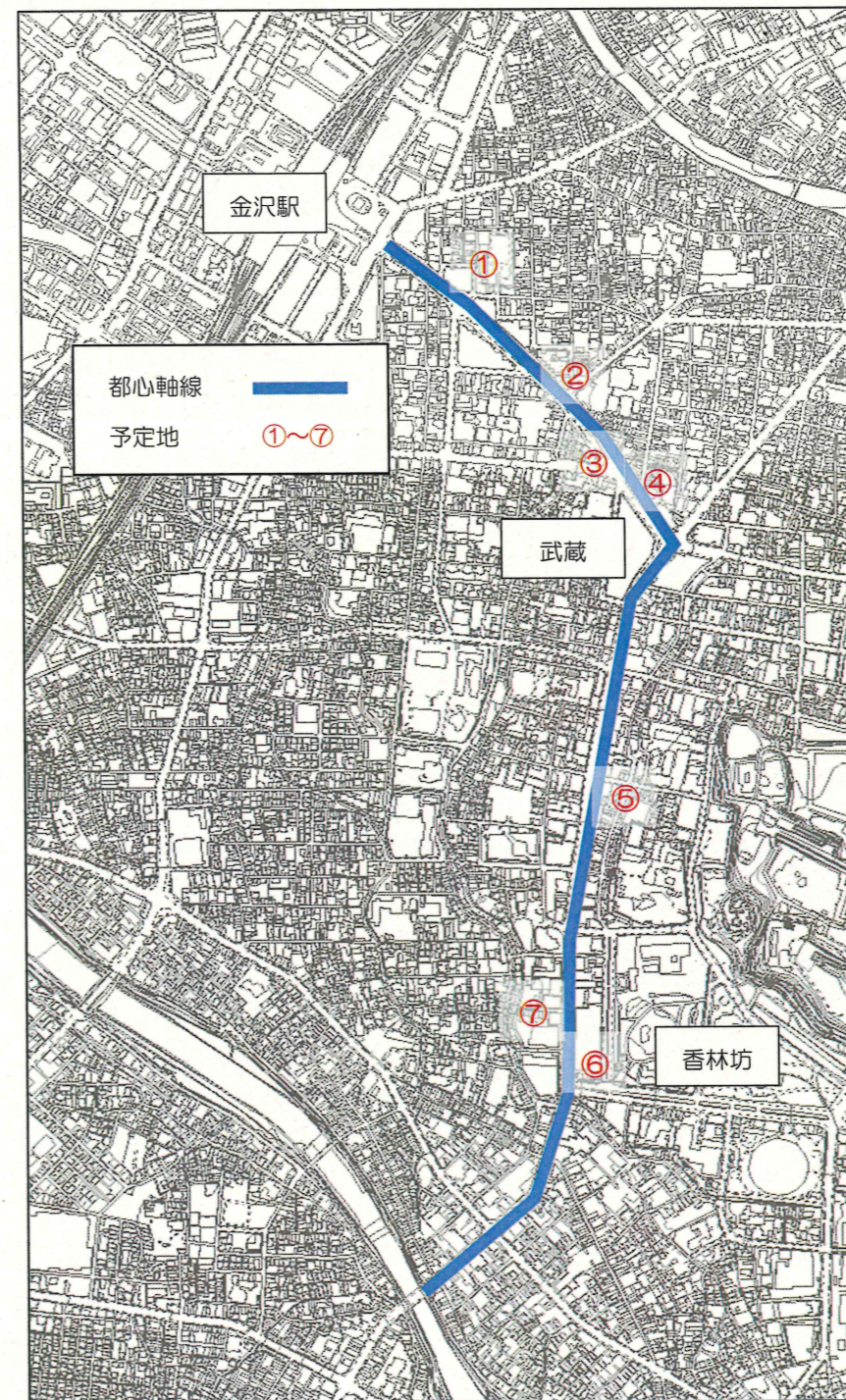
4. コンセプト

- (1) 金沢駅からまちなかに歩行者を誘うシンボリックな役割を果たすとともに、鼓門に代表されるように木材を使用し、色調も合わせ、周囲の景観にも調和したデザインとする。
- (2) 北陸新幹線金沢開業による金沢の新たなステージへの船出に期待を込め、かつて城下町に賑わいや恵みをもたらした北前船をモチーフとする。
- (3) 雨や雪にも強く、また金沢の歴史ともゆかりの深い素材として、能登ヒバ (アテ) や戸室石を使用する。
- (4) ベンチに設けたQRコードをスマートフォンで読み取り、まちなか彫刻や観光情報を紹介するサイトにアクセスすることで、歩行者の回遊性向上を図る。

5. デザイン例



6. 設置場所 (予定)



金石・大野やすらぎの林 ふれあいゴルフ広場の拡張整備について

1 目的

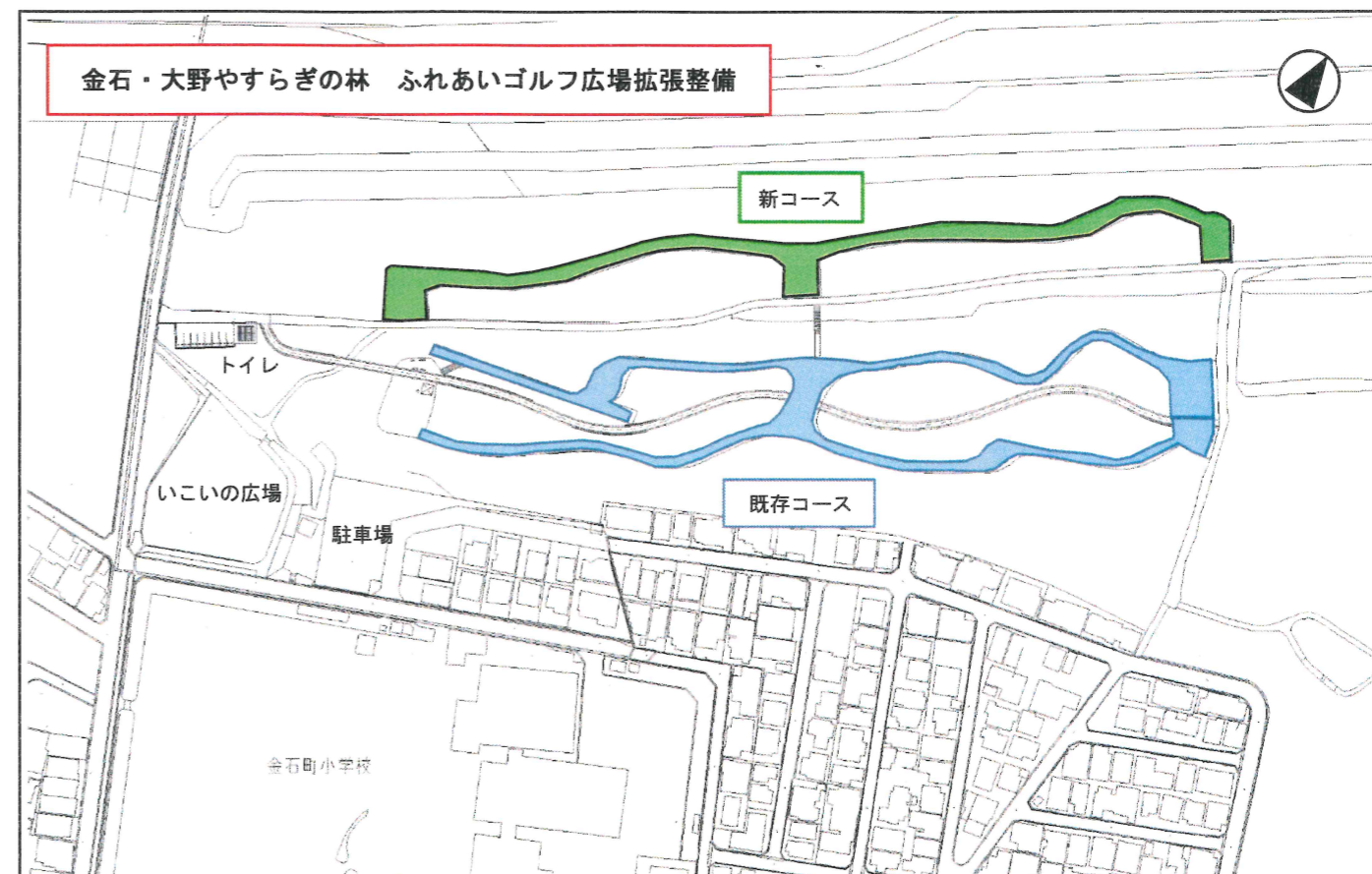
金石・大野やすらぎの林における、ふれあいゴルフ広場利用者の利便性向上と施設の充実を図る。

2 整備内容

- ・整備期間 平成28～30年度 (事業費 約2,000万円)
- ・コース整備 芝生 約2,000㎡ (整備後 約5,000㎡)
1コース 8ホール (整備後 3コース 24ホール)
- ・附帯施設整備 ベンチ6基、ほか看板等設置

3 開園式について

- ・日時 平成30年9月1日(土) 9:30～(40分程度)
- ・場所 金石・大野やすらぎの林
(開園式) いこいの広場
(始球式) ふれあいゴルフ広場 拡張コース
- ・出席者 市長、市議会議員、地元住民、グランドゴルフ関係者等
合計60名程度



■グランドゴルフ場整備の概要

区分	芝生面積	芝生広場	ホール数等	附帯施設 (ベンチ)	整備年度 (平成)
新コース	2,224㎡	3箇所	1コース 8ホール	6基	28～30年度
既存コース	2,867㎡	2箇所	2コース 16ホール	26基	11年度

